



学校便り 琢磨

令和5年度 第10号 R5.7.19 三豊市立詫間小学校

栄光を讃える

7月8日(土)に行われました「第39回香川県小学生陸上競技交流大会」の入賞者を紹介します。なお、表彰状の伝達は7月20日(木)の終業式の前に行う予定です。おめでとうございます。

【小学共通女子コンバインドA(80mハードル・走高跳)】

※ 敬称は略します。

第5位 1828点 6年 西原 詩

【小学共通男女混合4×100mリレー】

第7位 57秒11 6年 橋本 怜 妹脊 尽
西原 詩 林 遥斗



8月～9月の学校行事等のお知らせ

年度当初の予定から、一部変更している行事もありますので、ご確認をお願いいたします。

【8月】

8/12(土) たくま港まつり こども総踊り(1～3年生参加) 17:15 プール横集合

8/13(日)～8/15(火) 学校閉庁日(緊急連絡は三豊市教育委員会学校教育課 73-3131へ)

8/21(月) 全校登校日

8/25(金) PTA本部役員会 19:00

8/27(日) PTA奉仕活動 7:00～8:30(希望者)

【9月】

9/1(金) 2学期始業式 PTA合同委員会 19:00 夏休み作品展は令和2年度から開催しない

9/22(金) 授業参観、人権・同和教育講演会

9/29(金) 遠足(6年生のみ) ※1～5年生は11月15日(水)に変更

目的地の受入状況、バス手配の都合、修学旅行(12/7～12/8)との間隔等を考慮して変更

【参考】

○資源回収・・・10/1、10/8、10/15、10/29 ○地区陸上記録会・・・10/5 ○運動会・・・10/21

○県選抜陸上・・・11/3(6年)、11/4(5年) ○シェイクアウト・・・11/7 ○外国語研究発表会・・・11/8

○第3回さぬきっ子陸上カーニバル 11/12 ○学習発表会・・・11/24 ○校内マラソン大会・・・11/30

○4年親子給食・・・12/5、12/6 ○修学旅行・・・12/7～12/8 ○なかよし人権集会・・・12/15

○2学期末懇談会・・・12/20、12/21 ○2学期終業式・・・12/22

5年生宿泊学習



7月14日(金)～15日(土)の1泊2日。5年生は宿泊学習を行いました。1日目は、粟島への遠足、学校に帰ってから肝試しやキャンプファイヤー、花火大会を行いました。男子は教室、女子はランチルームで、プライベートスペースを作って宿泊をしました。

2日目は、ラジオ体操、体育館でのレクリエーションをし、きっちりと片付けもして午前10時頃に解散しました。(詳細はHPをご覧ください)

夏休みの家族旅行

ずいぶん前のこの「独り言」に、私が小学校1年生の時に「大阪の万国博覧会」に家族で行ったという思い出を書きました。後にも先にも、家族で旅行に行ったのは「万博」の1回きりでした。1970年のことです。今から53年も前の夏休みのことなのですね。何日も前から楽しみで、楽しみでたまらなかったこと、出発する日の朝、目を覚ましたら、父が「さあ、万博の朝が来たぞ！」と笑いながら大声で言ったこと、特急列車に初めて乗ったこと（当時、新幹線はまだ、大阪までしか開通していなかった。）、万博に行ったらすごい人で、楽しいどころか暑くてとても疲れたことなど、まるで昨日のこのように思い出されます。昔は、今とは違って一般庶民にとっては「旅行は贅沢なこと」という概念がありました。外食ですら、年に1回あるかないかの時代です。この旅行だって、何か懸賞みたいなものに当たって運良く行くことができたくらいです。ですから、どれだけ楽しみにしていたかは、お分かりいただけると思います。そして、その期待が大きかった分、思っていたよりもつまらなくて疲れたという感覚も、きっと分かっていたのではないかと思います。

さて、今回は、我が家の最初の家族旅行について書きます。私と妻と娘（1歳くらいだったかなあ？）の3人、車で有馬温泉に行ったのが最初の家族旅行でした。その当時は、大きな車（ハイエース系）に乗っていました。それは、たくさん荷物を積むことができ、車内も広々としていて旅行には最適な車だったからです。家族で旅行（おでかけ）に行くために買ったと言っても過言ではありません。ところで、家族旅行の最初に、なぜ有馬温泉を選んだのかは、はっきりとは覚えていませんが、車で、数時間で行くことができ、温泉があって、動物園や水族館にも寄れる場所を考えて「有馬温泉」ということになったと思います。泊まった温泉旅館はとても立派で、近くに川が流れていて、旅館から歩いて川辺まで散歩しました。つい最近の話のようですが、この話だってもう25年も前のことになります。

お部屋も広くて、障子で1つの部屋を2つに仕切ることができるようになっていました。幼い娘は、障子という物を初めて見たわけです。簡単に言えば「紙をはっている戸」です。1歳くらいの子どもには、それが何かは分かりません。皆さんの想像通りです。指で障子に穴を空けてしまったのです。そして、それが結構おもしろかったのでしょう。私たちが気付いた時には、何か所も穴が空いてしまっていたのです。

「これは、『め』だよ！」と言っても、娘は、「ハハハ」と笑っているだけです。もう一度障子に向かおうとする娘を抱きかかえて、娘は、海老反りをして「おろせー」と主張して…。「これは紙でできているから指を突っ込むと穴が空いてしまう。それを修理するためには、この紙をはがして、新しい紙をはらなければいけないのだ。」と当時、1歳の娘が理解したのか、していなかったのかは分かりませんが、娘が、やっと障子に向かわなくなると、妻が旅館の方に、「娘が障子に穴を空けてしまいました。すみません。弁償いたします。」と申し出ました。しかし、旅館の方は、「いえ、だいじょうぶですよ。小さなお子様には分かりませんものね、障子なんて。」とおっしゃい、一切、弁償は必要ないとお断りされたのです。25年前の初めての家族旅行ではっきりと覚えているのは、このことだけです。きっと、露天風呂に入ったでしょう、サファリパークにも行ったことでしょう。でも不思議ですね。はっきりと思い出されるのは、障子のことだけなのです。

余談になりますが、夏（休み）の楽しい出来事と言えば、「蚊帳（かや・かちょう）の中で寝る」ことでした。あの秘密基地のような空間が、わくわくしてたまりませんでした。蚊帳に入る時には、蚊帳の下を持って何回か揺すって、蚊が蚊帳の中に入らないようにさっと入るとか、もし蚊が入ってしまったら、みんなでその蚊をやっつけるまで奮闘するとか、蚊帳の中は、何とも言えない落ち着く空間であるとか、実は、旅行に行ったことより、蚊帳の中で寝たことの方が、今考えたらわくわくしていたような気がします。こんなことを書いていると、もう、蚊帳なんて何十年も使ったことないなあ、とても懐かしくなりました。